

国際学会「Experimental Biology 2013」参加報告書

筑波大学 体育系 研究員

辻 文 (つじ ぶん)

1. 概要

アメリカ ボストンで開催された Experimental Biology 2013 に参加し、BAMIS プロジェクトでの研究を発表した。Experimental Biology は生理学、解剖学、病理学、生化学、栄養学、薬理学の分野を含む大規模の国際学会である。日本出発前にはボストン・マラソン爆破事件が起こり、ボストン到着後には MIT での銃撃事件により公共交通機関の停止や屋内退避の指示が出され不安や緊張が続いたが、学会前日に事態は収束を迎え、無事学会は開催された（ただ会場に入る前には毎回持ち物検査があった）。

今回、体育系 運動生理学研究室 (西保研) から、西保 岳教授がシンポジストとして、私と渡邊 和仁 (博士後期課程 3 年) がポスター形式での発表を行った。西保教授は、体温上昇時に起こる過換気と脳血流低下反応の特性について、先行研究や西保研究室で得られた結果を基に発表し、質疑応答では臨床・スポーツ現場の観点から活発な議論がなされた。私は、意識的な呼吸コントロールが暑熱下運動時における体温上昇時の換気・脳血流反応に及ぼす影響について発表し、その意義や恩恵に関して多くの議論や意見交換が行われた。

2. 開催概要

- ・学会名：Experimental Biology 2013
- ・日時：平成 25 年 4 月 20 日 ～ 24 日
- ・場所：Boston Convention & Exhibition Center, Boston, US

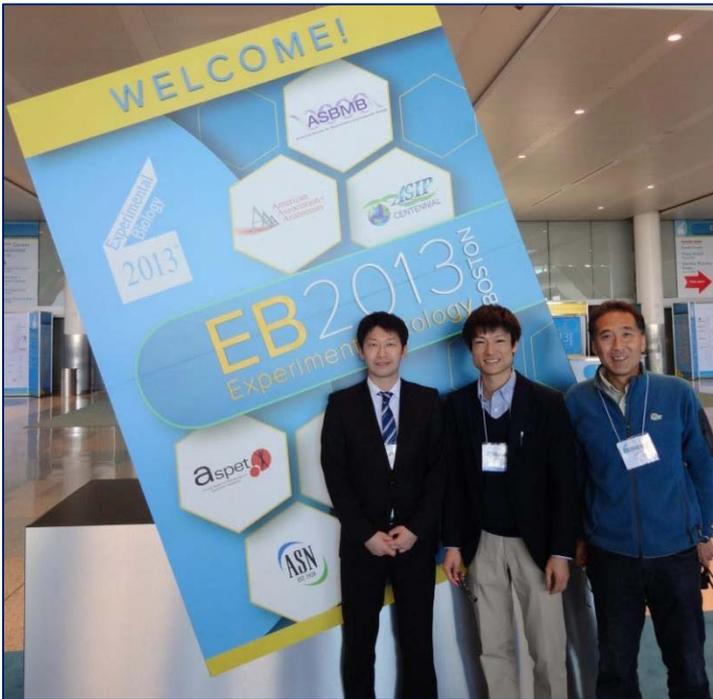
3. 発表者および発表内容

- Nishiyasu T., Fujii N, Tsuji B, Honda Y and Kondo N. 「Symposium: Therapeutic Cranial Cooling and Selective Brain Cooling in Humans, Characteristics of heat-induced hyperventilation in humans: implications for SBC?」
- Tsuji B., Honda Y, Ikebe Y, Fujii N, Kondo N and Nishiyasu T. 「Voluntary control of breathing and cerebral blood flow during prolonged exercise in the heat」

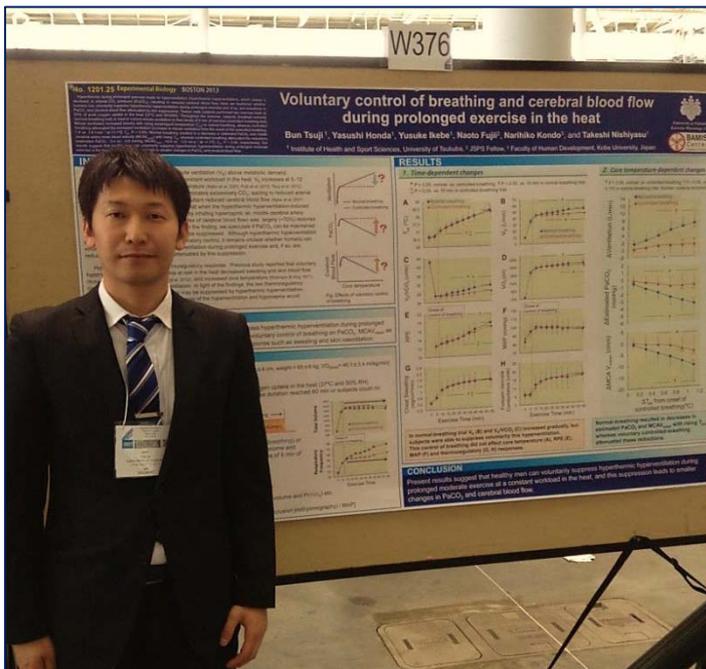
特別経費プロジェクト拠点代表 征矢 英昭 教授

- Watanabe K., Ichinose M, Tahara R, and Nishiyasu T. 「Individual differences in cardiac and vascular components of the pressor responses to isometric handgrip exercise in humans」

4. 活動の様子



学会会場にて



ポスター発表